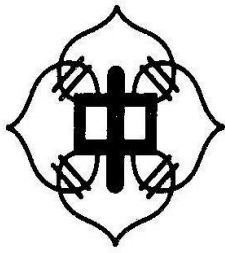


かんが こうどう きょうしん せい
考えて行動する 共 進 生



たい さん ぼく

泰山木

がっこう 学校だより だい 9号



れいわ ねん がつ か
令和4年 2月 24日

よこはましりつ きょうしんちゅうがっこう
横浜市立 共進 中学校

がっこう 校長 亀井 孝洋

自筆のよさ

がっこうちやう 亀井 孝洋

暦の上では立春となり、暖かい春風が川や湖の氷を溶かし始める頃といわれていますが、まだまだ寒い日が続いて
おります。先月 同様、新型コロナウイルスの感染者 数の増加が止まらず、連日 報道では、「過去最高の感染者数」
という言葉が聞かれます。

年が明け、職員室前には各学年から選ばれた書初めの作品が
展示されました。また、教室を巡回しながら、各教室に一人ひとりが
選んだ言葉が書かれた書初めを見させてもらいました。書初め
には1年の抱負や計画、おめでたい言葉を認め、目標 成就や
新年をお祝いする意味が込められています。それぞれの書にも
自分の決意なり、抱負などが込められているのだと思います。



職員室前に展示された書初めの優秀 作品↑

書初めの起源は平安時代に宮中で行なわれていた年始に
文書(吉書)を奏聞(天皇に申し上げること)する「吉書の奏」が起源だと言われています。その後、江戸時代には庶民
の間でも吉書の奏が知られるようになり、新年に若水(元日の早朝に初めて汲んだ水)で墨をすり、その年の恵方に
向かって詩歌や文書を書く行事として広がっていったそうです。明治時代に入ると、学校の書道 教育にも取り入れられ、
現在に知られる習慣として定着することになったようです。思い返すと、自分が教員になりたての頃は学年全員が
体育館に集まって行った記憶があります。その当時は生徒に交じって自分も筆を持って参加しましたが、思えばそれが
自分自身にとって最後の書初めだったかもしれません。(もう30年以上前の話ですが。)

最近教室の授業を見ていると、当たり前のようにchrombookを机の上に置き、キーボ
ードを用いて文字等を入力する姿が見られます。もちろん、ノートに自筆で書き込むことが
なくなったわけではありませんが、以前に比べるとはるかに少なくなったと思います。

手で文字を書くという作業はキーボードでの入力より時間がかかるという人もい
るでしょうが、ある研究では手で文字を書くという作業は、触覚を伴う複雑な動きで脳の



複数の領域を同時に活性化し、その情報のとの関わり方がより強化され、連想する思考力が高まることが、科学的にも
証明されています。書初めを通して、改めて「手で文字を書く」ことのよさについて考えさせられました。

(職員室 前のような字が書ければといううらやましさとともに)

【 全校道徳(LGBT学習)を終えて 】

[テーマ] 多様な性ってなんだろう? ~互いの違いを受け止めあえる社会を目指して~

[内容] ・セクシュアリティは人の数だけある。全員が多様な中の一人。

・一人ひとりが、自分も相手も大切に。

・どんな「ちがい」も受け止められる人であってほしい。

・どんな「ちがい」も受け止めあえる社会と一緒に作りたい。

[日時] 令和4年1月20日(木) 5,6校時



ReBitの想い

講師として、特定非営利活動法人 ReBit(リビット)より『LGBT・アライ』のメンバー1名と、ゲストとして、スターバックスコーヒージャパン株式会社より『LGBT・アライ』の従業員1名をお招きし、自らのセクシュアリティや職場での体験のお話や、動画を使用しながら講演していただきました。

講話後のアンケートでは、今回の講話を聴いて感じたことや、今後みんなが安心して過ごせる学校にするために何ができるのかを書いてもらいました。そこにはたくさんの思いがありました。その中の感想をいくつか紹介します。

(原文のまま載せています。)

●セクシュアリティについて

・LGBTという言葉は聞いたことあるけど意味は知らなかった。今日の授業でLGBTについて知りました。

セクシュアリティには、グラデーションのようにたくさんの種類があること、それは、一人ひとりに個性のようなものだとおもいました。

・世の中には、まだまだ知らない性の形があることを改めて知れました。違いとして特別視するより、どんな人々も当たり前として受け入れられる世の中になるといいなと思いました。

・LGBTQは、左ききの人と同じぐらいいるのが印象にのこった。

・意外と自分の周りにLGBTの人がいるかもしれないということが、よくわかりました。

もし、自分がカミングアウトされた側になったとしても、第三者に教えることだけはしないようにしたいです。

・一人ひとり個性があるのでそれを、見た目で決めつけて「ちゃん」・「くん」とかで呼ぶのも人によって「嫌な気持ちになってしまうかも」と思うことが出来ました。

・この授業で多様性の大切さを知れた。前からジェンダーの方に対して悪い

印象はなかったのですが今回の授業でより詳しく理解することができて良かった。

・男女で分けたりしなければいいと思う。

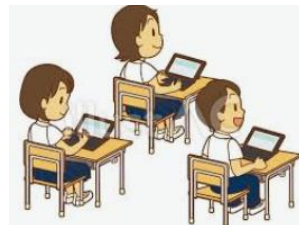
・見た目だけで男女を判断しないで、相手のことを知ることが大切だということに気づきました。

・男女間で仲がいいだけでも噂が広まっているから、男女間の壁をなくしていくといいと思う。

・自分と違う人の考えを理解するのは難しいと思うけど、できる範囲で意識を変えていく。

・LGBTという5種類だけでなく、人の数ほど多様性があるんだということを学びました。自分らしく生きる

ReBitのみなさんは本当に素敵だと思いました!ありがとうございました。



● 服装や環境について

・相談できるところを作る、相手を探す。(友達・先生など)

・誰でも馴染める空間を作りたいです。

・服装(標準服)や髪型を選ぶ権利、パソコンでも目安箱がほしい。

・多目的トイレを作る。アンケートとかで、たまにある「男・女」にまるするのをやめる。

・標準服をどちらでも良いようにする。

・水泳の授業の水着をみんなから隠れるようなデザインにする。



● 自分のこと・相手のことを考える

・自分は周りの人と違うという考えではなく自分の個性として受け入れることが大事だとわかった。

・自分たちが気軽に面白がって使っている言葉が人を傷つけてしまうことをしたのでつかわないようにしようと思いましたが。

・自分と違ってその人を理解するということ意識しながら生活すると良いと思った。

・この授業を受けたことで、自分を見つめ直す大切さだったり、他人と自分は違う人間だからお互いに理解し合うことが大切だ」ということを改めて思った。

・いろんな悩みを持っていたり思うこともたくさんあったりして色々な人の意見や考え方が知れて良かったと思うし、もし他人から相談されることがあれば力になってあげたいと思った。

・自分の価値観で決めつけない⇒自分が思っている男・女とは違う生き方をしている人がいると思う。

・世界において少数派であることはとても怖いと思うし、不安なこともあると思うけど、それでも人の為に活動し続けているのがすごいと思ったし、そんな人達の考えを聞いて考えが深まった。自分に何ができるのか、正しい行動への判断材料にしていきたい。

・自分の好きなどころも、嫌いなどころも、全部まとめて、それが、自分の個性なのだと改めて思えました。ありがとうございました!!

・自分が当たり前、相手が違うと思わないようにすること。

・どんな人でも、その人のことを知ってあげて受け止めることが大切だと思った、だから今回のような授業を知るきっかけになっていいと思った。

・それぞれが「人の気持ちを考えればいい」と思います。

・自分らしく生きようと思った。

・他人事と考えず自分ごとと考え、もし自分がこうだったらそういうことは

してほしくないと思うことはやらないで、されて嬉しいと思うことをする。

・色々な人が活躍できるような行事やコンテストをやりたい。



この他にも様々な意見を書いてくれました。全校生徒のみなさんありがとうございました。

今回考えてくれたことはみなさんと先生たちで検討し、実現に向けて取り組んでいきたいと

思います。これからも、一人ひとりが共進中学校の一員としての自覚をもち、誰もが

過ごしやすい学校づくりとは何かを共に考えていけたらいいですね。



【 1年生クラス紹介 】

1組

担任の先生の似顔絵



なかしま つかさ せんせい
中島 司 先生

1年1組は、いつも明るく、活発で、笑いが絶えないクラスです。休み時間は、みんなで思い思いに話をしたり、じゃれ合ったりしています。時にはけんかなどをしてしまうこともあります。結局すぐに仲直りできます。また、1組は男女の仲がとても良く、団結力があります。

体育祭や文化祭では、1位をとれませんでした。団結力を生かして、クイズ大会では全校で1位をとることができました。担任の中島先生も明るく朝や帰りの学活を進めてくれるので、明るい気持ちでこの後を過ごすことができます。後少しの1年生をこのメンバーでめいっぱい楽しみたいと思います。

2組

担任の先生の似顔絵



わたなべ ゆうま せんせい
渡邊 祐真 先生

私たち1年2組は、とにかく底抜けに明るい活発的なクラスです！クラスでは、ムードメーカーのグループが盛り上げてくれて、ストレートにつっこむ人など色々な人がいて笑いがたえません。でも、授業をする時は静かに受け、学校行事などの時は、気を引きしめて本気で挑みにいきます。2組は、そんなメリハリのあるクラスでもあります。

しかし、そんな2組にもロッカーや机の中など、身の周りの整理があまり得意ではないなど、不十分な部分もいくつかあります。そんな所も2組の個性だと思っています。このクラスでの生活もあと少しですが、最後まで全員で楽しんでいきたいです！

3組

1年3組は、一人ひとりのオリジナリティがあふれる個性豊かなクラスです。昼休みは、外に遊びに行く人もいれば、廊下で他クラスの友達と話している人、教室で本や漫画を読んでいる人がいます。やっている内容は違いますが、みんなそれぞれの時間を満喫しているように見えます。授業中も、手を挙げる人は少なめですが、集中して取り組んだり、つぶやいたりする人は多いです。帰り学活のお知らせなどで「これをやりましょう」と提案するとすぐに取り組めるような優しいクラスでもあります。担任の菊池先生も very very kind で、行事などにも積極的に関わってくれる先生です。クラス替えまで、あと2か月くらいしかありませんが、その間にもっともっとクラスの仲が、進展できたらと思います。

担任の先生の似顔絵



菊池 律子 先生

4組

私たち1年4組は、明るく元気のいいクラスです。ですが、たまに授業中と休み時間のメリハリがなくなってしまうことや、授業中に私語が多くなってしまうことがあります。けれど、クラスのチームワークが良く、クラスで何かを取り組む時は、一人ひとりが一生けんめい取り組んでいます。

体育祭の「波のりでGO!」では、クラスでアドバイスし合いながら取り組みました。また文化祭では、自分のパートだけではなく、違うパートともアドバイスし合って取り組みました。

これからも、4組の良さを出し続けられるように頑張っていきたいと思いました。

担任の先生の似顔絵

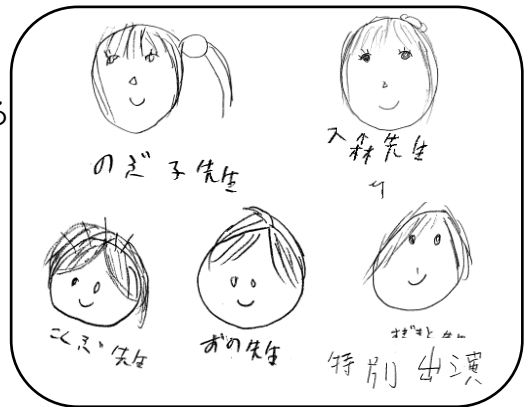


金田 圭介 先生

【 6組 と 通級指導教室 の 紹介 】

6組

こんにちは！6組です！私たち6組は、一人ひとりが、明るく元気で優しい人が集まった、楽しいクラスです。クラスのメンバーは、3年生が6人、2年生が7人、1年生が5人の合計18人で楽しく過ごしています。先生は、4人の担任の先生と各授業の先生方が来てくださいます。授業中では、それぞれの得意なことや個性を生かして、協力して学習しています。



毎日楽しい話題がいっぱい賑やかです。今年度、文化祭で発表しました。練習中は、合わせることに覚えることを重視してやっていた。休憩中は、走り回っていても「集合！」と言われたらメリハリをつけて集まります。そこがすごくいいなと思います。個別級の合同学芸会はなくなってしまったけれど、ビデオ撮影してもらって、みんなで頑張って作り上げたものが残って良かったです。6組のみんなは、クラスで困っている人を助けたり、優しく励まし合えるクラスです。これからも6組をお願いします。

通級指導教室

通級指導教室には、『まなびの支援教室』と『きこえとことばの教室』があります。共進中学校は横浜市の中学校の中で、一番早く始まった通級です。今年は、約220人の生徒が、いろいろな中学校から通っています。



『まなびの支援教室』では、生徒自身が自分のもっている力を発揮できるようになるために、自分に合った学び方やコミュニケーションの方法を学習しています。



『きこえとことばの教室』では、「聞く」「話す」「読む」「書く」などに合ったコミュニケーションの方法を学習しています。授業内容は、医療機関で行われている聴力検査や言語訓練から学校生活全般の相談活動や学習支援などです。

どちらの教室も、通級生一人ひとりに合わせたオーダーメイドの学習をしています。